

第124回 一般社団法人大阪府耳鼻咽喉科医会講習会

日時： 令和元年10月26日(土) 午後3時～

場所： OMMビル 2階会議室

大阪府中央区大手前1-7-31 OMMビル

TEL 06-6943-2010

司会 小川 真 (医会理事)

1. 講演Ⅰ 午後3時10分～4時10分

「最近の頭頸部癌の診断・治療のトピックス」 …………… 鈴木 基之 先生
(大阪大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 助教)

2. 医会だより

…………… 担当理事

3. 講演Ⅱ 午後4時20分～5時20分

「サクセスフルエイジングと聴力の関係」 …………… 内田 育恵 先生
(愛知医科大学医学部 耳鼻咽喉科 准教授)

共催 一般社団法人大阪府耳鼻咽喉科医会・セオリアファーマ株式会社

耳鼻咽喉科医が使用する電子スコープにNBI機能が搭載され、実際の診療に用いられるようになり10年以上が経過しました。以前は頭頸部癌に表在癌という概念は存在していませんでしたが、電子スコープの普及や診断機会の増加により徐々に表在癌というものが認識されるようになってきております。この表在癌は従来の浸潤癌に比べ非常に予後が良好であることが知られております。また、その治療自体も従来の治療戦略と異なり経口的切除術が低侵襲治療として行われるようになりました。そのため、表在癌で早期発見することは患者さんに生命予後のみならずQOLの高い治療を受ける機会を与えることになり、耳鼻咽喉科医の日常診療においてもますますその役割が求められます。講演Ⅰでは、頭頸部表在癌の診断・治療について、鈴木基之先生(大阪大学)にご講演いただきます。

サクセスフル・エイジングは高齢者の生き方のモデルとして、米国で提唱された概念です。定まった和訳はありませんが「幸福な老い」などと訳され、心身機能の衰えが少なく、生活満足度の高い加齢を表すとされます。聴力の状態と、心身の衰えを防ぎ身体機能を維持すること、との間には意外な関係があり、多くの研究によって報告されています。講演Ⅱでは、聴力が関わるさまざまな健康問題に目し、単疾患的アプローチ以外で、われわれ耳鼻咽喉科医に求められる役割を考え、話題として、「難聴とmultimorbidity(多疾患罹患)、ヘルスリテラシー、健康管理」、「難聴と事故受傷リスク、バランス機能、転倒リスク」、「難聴と認知機能、認知ドメインとの関係性」について内田育恵先生(愛知医科大学)にご講演いただきます。

新専門医制度の「耳鼻咽喉科領域講習」として2講演とも認可されました。1日での取得単位の上限は1単位となっております。日本耳鼻咽喉科学会会員ICカードをご持参ください。遅刻・途中退席の場合、単位は取得できませんので、時間に余裕をもってご来場ください。

参加費無料(非会員は有料)

大阪府医師会発行の生涯研修チケットをご持参ください。大阪府医師会指定学校医制度の講習会としても申請いたします。なお、講習会の前に共催会社より製品紹介があります。

大阪府中央区大手前1-7-31 OMMビル

TEL 06-6943-2010

(大阪メトロ谷町線・京阪天満橋駅下車)

交通のご案内 大阪メトロ谷町線…東梅田から6分

京阪電車 ……淀屋橋から3分

「天満橋駅」下車、OMM地下2階に連絡